



2008年10月21日

各 位

会社名 ラディアホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 堀井 慎一
(コード番号 4723 東証第一部)
問合せ先 常務執行役員 広報・IR本部長 立山 秀
(TEL . 03-3405-9262)

固定資産の譲渡契約の解除に関するお知らせ

当社は、2008年5月30日付「固定資産の譲渡に関する日程変更のお知らせ」等にて公表しております。当社が保有するパーリントンハウスの固定資産の株式会社ゼクス(以下ゼクス)への譲渡に関して契約を解除いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 契約解除の理由

当社が保有するパーリントンハウスの固定資産(住宅型有料老人ホーム2施設)は、2007年9月21日にゼクスと不動産売買契約を締結後、諸手続きが整うまでの間、物件の引渡しを延期し、ゼクスの子会社であります株式会社ゼクスアクティブ・シニア(以下ゼクスアクティブ・シニア)と定期建物賃貸借契約を締結し、同社にて施設運営を行ってまいりました。

しかしながら、2008年7月26日以降の期間については、定期建物賃貸借契約の締結、賃料の支払がなされなかったことから、当社は、ゼクスアクティブ・シニア及びゼクスに対し、その債務不履行状態の解消を求める一方、2008年8月25日を期限とする催告書を送付いたしました。その後、この期限までに債務不履行状態は解消されていないことを確認したため、不動産売買契約は解除されました。

入居者の方にご心配をお掛けすることは当社の意図するところではありませんので、その後継続的にゼクスと善後策を模索してまいりましたが、契約違反状態の是正は行われず、これに代わりうるゼクスからの誠意ある措置が講じられることもありませんでした。誠に遺憾ながら前記解除の意思表示の撤回はなしえないこととなりましたので、お知らせいたします。

2. 契約解除後の運営について

当社といたしましては、入居者の方へのサービス提供に支障が生じないように、施設運営に関しては十分配慮し、現在運営を行なっておりますゼクスアクティブ・シニアと協議してまいります。

3. 今後の見通し

今回の契約解除による業績への影響はございません。今後の当社連結業績に与える影響につきましては、確定した時点において速やかに開示いたします。なお、ゼクスは、当社における今後の新たな購入候補先との交渉については、必要かつ合理的な協力を異存はないとしていることから、当社といたしましては早急に購入先を探してまいります。

また、当該物件バーリントンハウスの現状建物と図面等に一部不整合と思われる箇所が見つかりました件につきましては、現在検証中です。結果が分かり次第速やかに開示いたします。

以 上